

(証券コード 9385) ショーエイコーポレーション

2021年3月期

決算発表補足資料

2021年7月21日

この度の不適切な取引につきましては、株主・投資家の皆様をはじめ、お取引先及び関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますこと深くお詫び申し上げます。

外部調査委員会の調査の結果、過年度及び2021年3月期第1四半期から第3四半期における連結財務諸表等に対する金額的な重要性は乏しいと判断し、当該期間の連結財務諸表等の訂正は行わないこととなったものの、報告書に指摘されております内部統制に関わる問題も含めて、監査法人による追加的監査手続きに時間を要したことから、2021年3月期の決算発表が本日となってしまいました。誠に申し訳ありませんでした。

当社は、今回の決算開示が遅延したことを厳粛に受け止め、社内での体制整備を進め、今後の決算開示については、期末後45日以内に開示できるよう、適切に取り組んでまいります。

目次

2021年3月期の業績

P. 4

今後の見通し

P.16

2021年3月期の業績



2021年3月期 (連結)

	2021年3月期			2020年3月期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	20,507	100.0	107.3	19,115	100.00
売上原価	16,044	78.2	103.8	15,456	80.9
売上総利益	4,463	21.8	122.0	3,659	19.1
販売管理費	3,247	15.8	107.1	3,031	15.9
営業利益	1,215	5.9	193.6	628	3.3
経常利益	1,071	5.2	169.4	632	3.3
親会社株主に 帰属する当期純利益	675	3.3	166.3	406	2.1
1株当たり 当期純利益金額(円)	100.55	-	-	64.01	-

- ・利益面は低利率であった封入封緘、物流の売上が減少する一方で、高利率である充填セット売上が伸びたこと、商品販売事業の利益率が改善されたこと、また年金資産の増加により営業利益は12億15百万円（前期比93.6%増）。
- ・当該不適切取引に関わる貸倒損失1億2百万円を計上した。

セグメント別 2021年3月期の業績

報告セグメントの区分を再編しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております

	2021年3月期実績			2020年3月期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	20,507	100.00	107.3	19,115	100.00
営業促進支援事業	10,650	51.9	0.9	10,556	55.2
商品販売事業	9,867	48.1	15.2	8,562	44.8
その他の事業	24	0.0	0.0	24	0.0
セグメント間の内部 売上高	▲ 34	-	-	▲ 27	-

- ・「営業促進支援事業」は販促営業売上が前期比14百万円減少(0.7%減)。充填セット売上は前期比8億17百万円増加(61.4%増)。
- ・100円ショップやドラッグストア等量販店について市場の動向及びニーズをタイムリーに掴み、企画提案を進めた結果、好調に推移。量販店向けが前期比2億68百万円増加(20.9%増)。

※百万円未満切り捨て

事業の内容

営業促進支援事業

お客様自身の営業を一層促進していただくために、企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をする事業

➤ 資材販売

自社の生産工程管理の上でパッケージ（袋）等の包装資材の企画、製造し販売した売上である。

➤ 販売促進

以前はパッケージ（袋）を他社から仕入れて販売した売上が主力であったが、現在は販促営業で取り扱う商品を、海外品を含めた商品を仕入れて販売した売上である。パッケージ（袋）以外の商品も多くなっている。

➤ 充填セット

以前は雑貨品の包装加工が主力であったが、現在は化粧品、健康食品、医薬部外品、また液体、粉末等の包装加工が増加している。充填・セットは袋や容器に詰めるという役務作業だけではなく、内容物の材料の仕入れ、混合して商品を作り出す、包装資材の企画、梱包、配送までも行う事業となっている。

➤ 封入封緘

お客様のカタログや冊子をラッピングマシンや手作業によって封入封緘を行っており、それを受託した売上である。

➤ 物流

封入封緘したものを民間メール便、日本郵政に委託して送付することを受託した売上である。商品を梱包し発送するという流通加工も含まれる。

商品販売事業

100円ショップやドラッグストア、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供させていただく事業

➤ 100円ショップ向け

キャンドウをはじめ、大創産業、セリア、ワッツなど100円ショップ大手4社をはじめ、全国の地方100円ショップに販売している売上である。

➤ 量販店向け

ドラッグストアを中心に、ホームセンター、ディスカウントショップ等の量販店向けに販売している売上である。

➤ その他

雨避けラッピングフィルムを新聞配達店向けに販売している売上。あわせてギフト商品などを販売している売上である。

営業促進支援事業 2021年3月期の業績

報告セグメントの区分を再編しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております

	2021年3月期実績			2020年3月期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	10,650	100.0	0.9	10,556	100.0
資材販売	3,213	30.2	▲ 5.5	3,400	32.2
販売促進売上	2,027	19.0	▲ 0.7	2,042	19.3
充填セット売上	2,148	20.2	61.4	1,331	12.6
封入封緘売上	521	4.9	▲ 37.1	830	7.9
物流売上	2,739	25.7	▲ 7.2	2,951	28.0
売上総利益	2,050	19.3	20.9	1,696	16.1
セグメント利益	960	9.0	49.6	642	6.1

- ・ 企画提案による商品・販促営業、医薬部外品及び雑貨品等の充填セットの売上高は前期を大きく上回った。
- ・ 充填セットが大きく伸びるなど、高利益率の売上へのシフトが進み始めている。
- ・ 売上高は106億50百万円（前期比0.9%増）となった。

※百万円未満切り捨て

商品販売事業 2021年3月期の業績

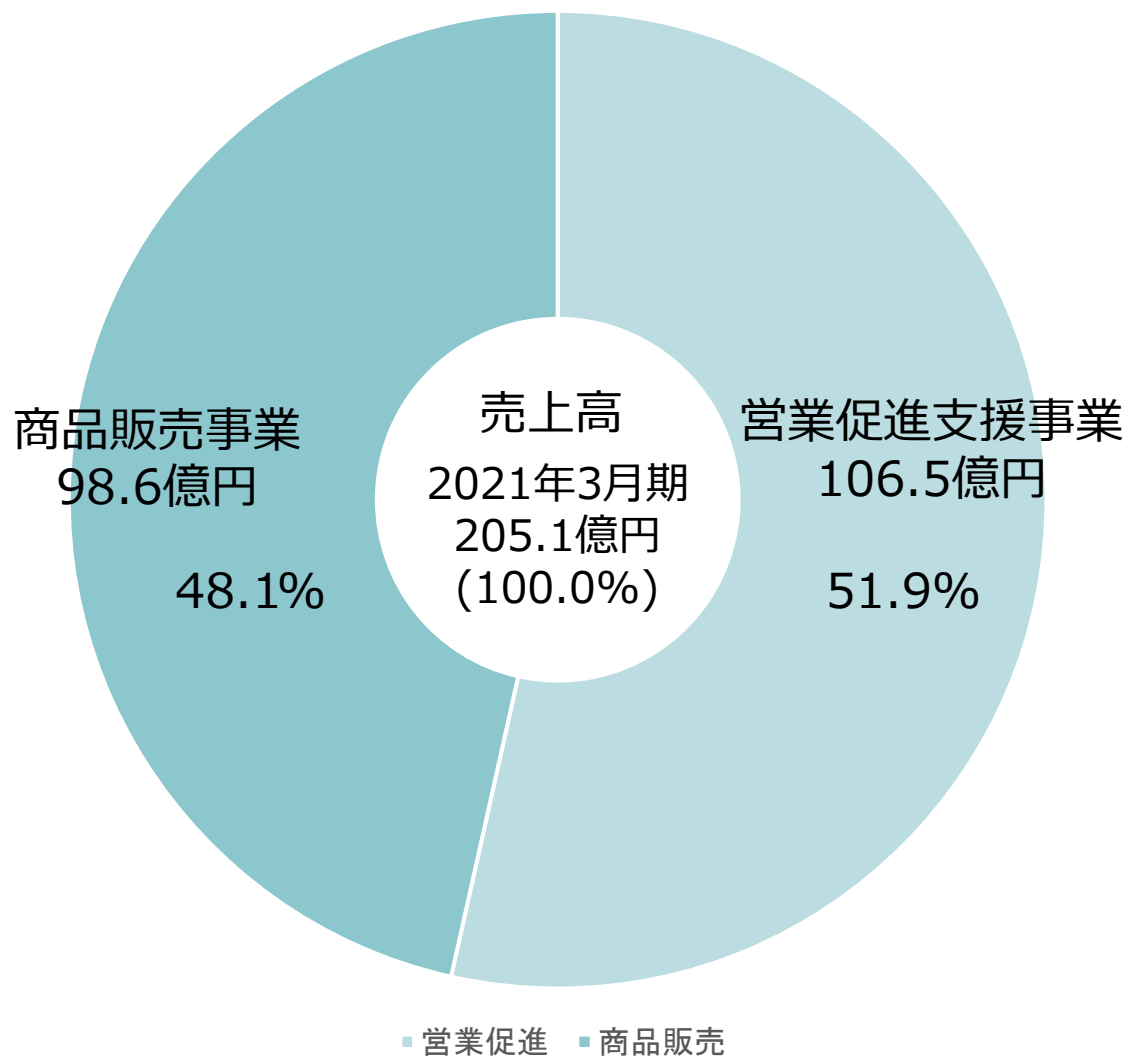
報告セグメントの区分を再編しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております

	2021年3月期実績			2020年3月期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	9,867	100.0	15.2	8,562	100.0
100円ショップ向け売上	7,427	75.3	11.8	6,641	77.6
量販店向け売上	1,551	15.7	20.9	1,283	15.0
その他売上	888	9.0	39.2	638	7.5
売上総利益	2,396	24.3	23.2	1,945	22.7
セグメント利益	801	8.1	68.6	475	5.6

- ・ 100円ショップやドラッグストア等量販店、小売販売店に対し、市場の動向及びニーズをタイムリーに掴み、企画提案を進めた。
- ・ 海外仕入れについては取引工場への指導や取引先の変更も含めた仕入れ価格の低減化を進めている。
- ・ 前期を大幅に上回り、売上高は98億67百万円（前期比15.2%増）となった。

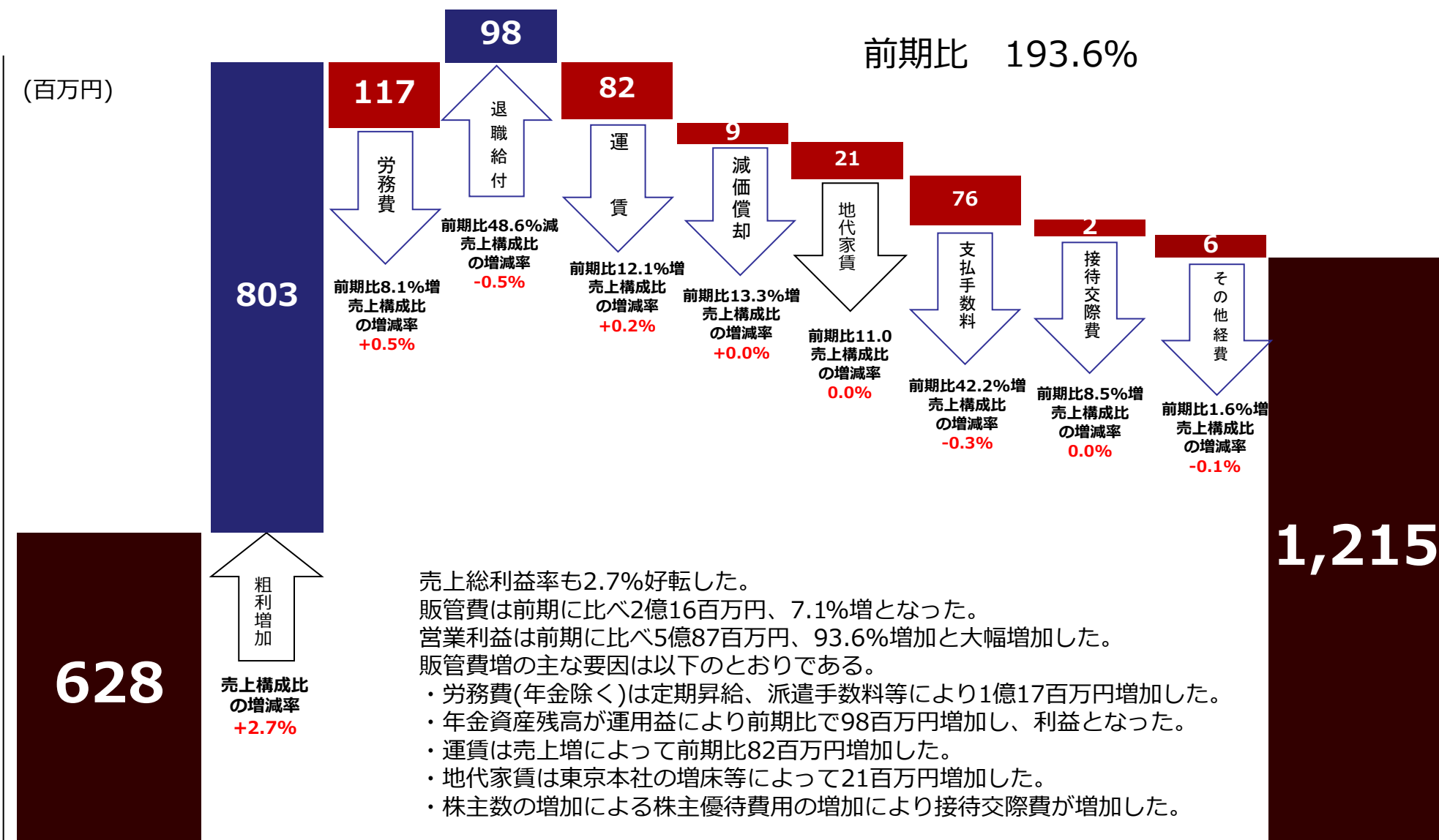
※百万円未満切り捨て

(ご参考) 売上構成比 2021年3月期



	実績(百万円)	売上構成比
売上高	20,507	100.0%
営業促進支援事業	10,650	51.9%
資材販売	3,213	15.7%
販売促進売上	2,027	9.9%
充填セット売上	2,148	10.5%
封入封緘売上	521	2.5%
物流売上	2,739	13.4%
商品販売事業	9,867	48.1%
100円ショップ向け売上	7,427	36.2%
量販店向け売上	1,551	7.6%
その他売上	888	4.3%
その他の事業	24	0.0%

営業利益増益の要因



2020年3月期

2021年3月期

(ご参考) 四半期の業績推移

	2020年3月期 1 Q		2020年3月期 2 Q		2020年3月期 3 Q		2020年3月期 4 Q		2021年3月期 1 Q		2021年3月期 2 Q		2021年3月期 3 Q		2021年3月期 4 Q	
	金額 (百万 円)	構成 比 (%)	金額 (百万 円)	構成 比 (%)	金額 (百万 円)	構成 比 (%)	金額 (百万 円)	構成 比 (%)	金額 (百万 円)	構成 比 (%)	金額 (百万 円)	構成 比 (%)	金額 (百万 円)	構成 比 (%)	金額 (百万 円)	構成 比 (%)
売上高	4,530	100.0	9,456	100.0	14,267	100.0	19,115	100.0	4,903	100.0	10,183	100.0	15,486	100.0	20,507	100.0
売上原価	3,660	80.8	7,675	81.2	11,529	80.8	15,456	80.9	3,874	79.0	8,001	78.6	12,062	77.9	16,044	78.2
売上総利益	870	19.2	1,780	18.8	2,737	19.2	3,659	19.1	1,029	21.0	2,182	21.4	3,425	22.1	4,463	21.8
販売管理費	756	16.7	1,500	15.9	2,260	15.8	3,031	15.9	769	15.7	1,561	15.3	2,411	15.6	3,247	15.8
営業利益	113	2.5	280	3.0	477	3.3	628	3.3	260	5.3	621	6.1	1,014	6.5	1,215	5.9
経常利益	96	2.1	253	2.7	456	3.2	632	3.3	267	5.5	605	5.9	989	6.4	1,071	5.2
親会社株主に帰属する当期純利益	63	1.4	166	1.8	281	2.0	406	2.1	179	3.7	414	4.1	666	4.3	675	3.3

財政状態(貸借対照表主要科目) (連結)

	2020年3月期末		2021年3月期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
(流動資産)	6,336	70.1	7,402	72.0	1,066	16.8
現金及び預金	874	9.7	943	9.2	69	7.9
受取手形及び売掛金	2,853	31.5	2,847	27.7	▲ 5	▲ 0.2
たな卸資産	1,876	20.8	2,592	25.2	716	38.2
その他流動資産	733	8.1	1,020	9.9	286	39.0
(固定資産)	2,701	29.9	2,885	28.0	184	6.8
(繰延資産)	-	-	-	-	-	-
資産合計	9,037	100.0	10,287	100.00	1,250	13.8
(流動負債)	5,732	63.4	5,030	48.9	▲ 702	▲ 12.3
(固定負債)	609	6.8	524	5.1	▲ 85	▲ 13.9
負債合計	6,341	70.2	5,554	54.0	▲ 787	▲ 12.4
純資産合計	2,696	29.8	4,733	46.0	2,037	75.6
負債純資産合計	9,037	100.0	10,287	100.00	1,250	13.8

※百万円未満切り捨て

キャッシュ・フローの概要 (連結)

	2020年3月期 (百万円)	2021年3月期 (百万円)	主な要因
営業キャッシュ・フロー	440	▲602	税金等調整前当期純利益1,070百万円、減価償却費195百万円、売上債権の増加額300百万円、仕入債務の減少額659百万円、たな卸資産の増加額726百万円
投資キャッシュ・フロー	▲55	▲145	投資有価証券の取得による支出13百万円、有形固定資産の取得による支出91百万円
フリーキャッシュ・フロー	385	▲747	-
財務キャッシュ・フロー	▲73	822	借入金の純減額389百万円、株式の発行による収入958百万円、自己株式の処分による収入486百万円、リース債務の返済による支出108百万円、配当金の支払額124百万円
現金及び現金同等物の増減額	315	69	-
現金及び現金同等物の期首残高	558	874	-
現金及び現金同等物の期末残高	874	943	-

※百万円未満切り捨て

今後の見通し



2022年3月期 業績予想 (連結)

	2022年3月期業績予想			2021年3月期実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	20,086	100.0	97.9	20,507	100.00	▲ 421	▲ 2.1
売上原価	15,636	77.9	97.5	16,044	78.2	▲ 407	▲ 2.5
売上総利益	4,449	22.2	99.7	4,463	21.8	▲14	▲0.3
販売管理費	3,448	17.2	106.2	3,247	15.8	202	6.2
営業利益	1,000	5.0	82.3	1,215	5.9	▲ 215	▲ 17.7
経常利益	912	4.5	85.2	1,071	5.2	▲ 159	▲ 14.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	604	3.0	89.6	675	3.3	▲ 70	▲ 10.4
1株当たり 当期純利益(円)	78.25	-	-	100.55	-	-	-

セグメント別 2022年3月期業績予想

	2022年3月期業績予想			2021年3月期実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	20,086	100.0	98.0	20,507	100.0	▲ 421	▲ 2.1
営業促進支援事業	9,607	47.8	90.2	10,650	51.9	▲ 1,043	▲ 9.8
商品販売事業	10,454	52.1	106.0	9,867	48.1	587	6.0
その他の事業	24	0.1	100.0	24	0.1	0	0.0
セグメント間の内部 売上高	▲ 0	▲ 0.0	-	▲ 34	▲ 0.1	-	-

営業促進支援事業 2022年3月期業績予想

	2022年3月期業績予想			2021年3月期実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	9,607	100.0	90.2	10,650	100.0	▲ 1,043	▲ 9.8
資材販売	3,300	34.4	102.7	3,213	30.2	86	2.7
販売促進	1,700	17.7	83.9	2,027	19.0	▲ 327	▲ 16.2
充填セット	2,400	25.0	111.7	2,148	20.2	251	11.7
封入封緘	500	5.2	95.8	521	4.9	▲21	▲4.2
物流	1,707	17.8	62.3	2,739	25.7	▲ 1,031	▲ 37.7
売上総利益	2,081	21.7	101.5	2,050	19.3	30	1.5
セグメント利益	852	8.9	88.7	960	9.0	▲108	▲11.3

商品販売事業 2022年3月期業績予想

	2022年3月期業績予想			2021年3月期実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	10,454	100.00	106.0	9,867	100.0	587	6.0
100円ショップ	7,893	75.5	106.3	7,427	75.3	466	6.3
量販店	1,678	16.1	108.2	1,551	15.7	126	8.2
その他	883	8.4	99.4	888	9.0	▲ 5	▲ 0.6
売上総利益	2,350	22.5	98.1	2,396	24.3	▲ 45	▲ 1.9
セグメント利益	620	5.9	77.5	801	8.1	▲ 180	▲ 22.5

自社商品メーカーへの転身

経営理念 社会の進歩発展に貢献する

経営ビジョン

「おどろき！の快適」を追究し包想する、
感動創出メーカーになる



今後の取り組み



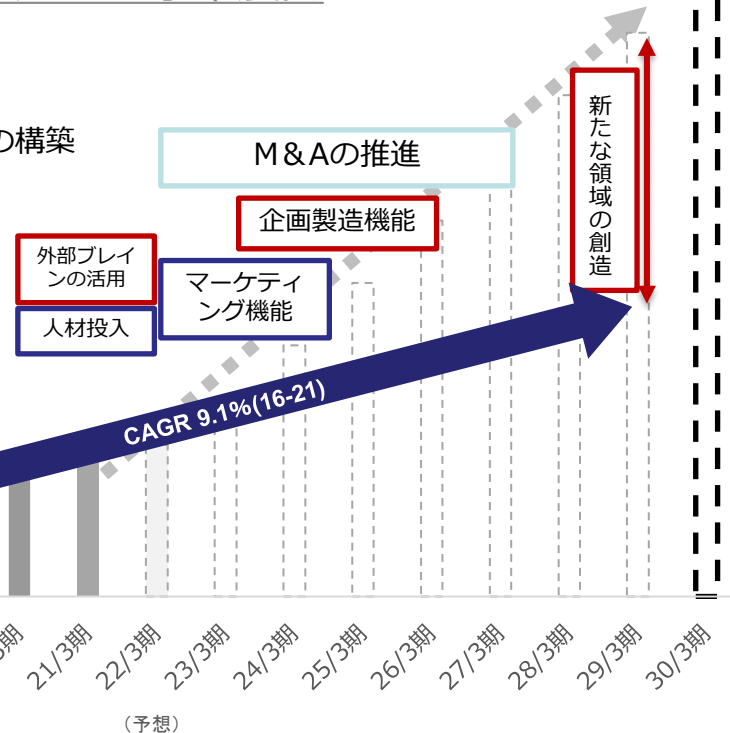
アライアンス戦略をコアにBtoBビジネス

- パッケージ企画・製造
- DM代行・物流
- マーケティング・セールスプロモーション企画（販売促進支援）
- 化粧品・医薬部外品・雑貨の充填
- 日用品・雑貨の企画・販売

(中長期的イメージ)

商品販売、充填セット、販促営業を中核とした事業展開

- 新たな領域の創造
- 量販店開拓と販売品目の構築
 - 化粧品等の企画・開発・製造の構築
 - WEB広告や顧客分析などのマーケティングの構築
 - 関東・中部を含めた物流拠点の構築
 - ITとダイレクトチャネルの構築



売上高の過去推移及び今後の成長イメージ

※今後の成長イメージはあくまでも当社による想定であり、具体的な水準の達成を保障するものではありません

<ご案内>

- ・本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での当社の判断であります。市場環境等の様々な要因により、実際の業績はこれら見解、見通し、ならびに予測等と大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。
- ・当社では、株価に影響を及ぼす情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算期日の2週間前から決算発表日までの一定期間を沈黙期間としています。この期間は決算に関するコメントや質問に対する回答は控えさせていただきますのでご了承下さい。ただし、同期間中に業績予想が大きく変動する見込みが生じた場合には、適宜、情報開示を行います。

株式会社 ショーエイコーポレーション

お問合せ先：I R広報室

T E L : 03-6826-8662 F A X : 03-6826-8677

ホームページU R L : <http://www.shoei-corp.co.jp/>